

シリーズ **土地改良** のあしあと **津中部土地改良区(津市)**



全景



竣工記念碑と給水槽

当土地改良区は、受益面積130ha、組合員312名で、旧津市の南西部2級河川の安濃川と岩田川に挟まれた標高1.5m～7.0mの沖積平野です。

従来、用水系統は、国営中勢用水事業の安濃ダムから放流補給により、三泗頭首工から取水していましたが、用排水路も未整備で近代農業の推進に障害となっておりました。その間、中勢用水の進展と共に周辺の国道23号バイパス、163号バイパス、2級河川(安濃川、三泗川、岩田川)改修及び市道拡幅事業等の公共事業が併行して実施されることとなり、それら事業用地の捻出が強く求められ、この地域の関係者も全面的に協力し、地域の一体的な整備により、この地域の農業、農村の生産及び環境基盤を充実させ、農業を核として大規模経営を目標に農地の連担化と集積を図って、担い手の組織化と高齢化に対応する目的で平成9年度より県営担い手育成基盤整備事業に着手し、平成17年度に完了しました。

今後、農業の大規模経営と継続者の担い手を育成するに当たって、この事業は標準区画が1ha以上で、用水はパイプライン方式の自動給水装置となっており、関係者から好評を得ています。また、この地区の営農形態は、集落営農や個別大規模農家が育ってきており、現在農地の60%が利用集積されており、事業効果が着実に現れてきております。

現在、地区内の農道が殆ど砂利道で農道の環境保全向上の観点から、平成20年度より、農道のアスファルト舗装を7.3kmに亘り実施しており、平成22年度には完了する予定となっております。

農村公園の草刈清掃



農村公園全景